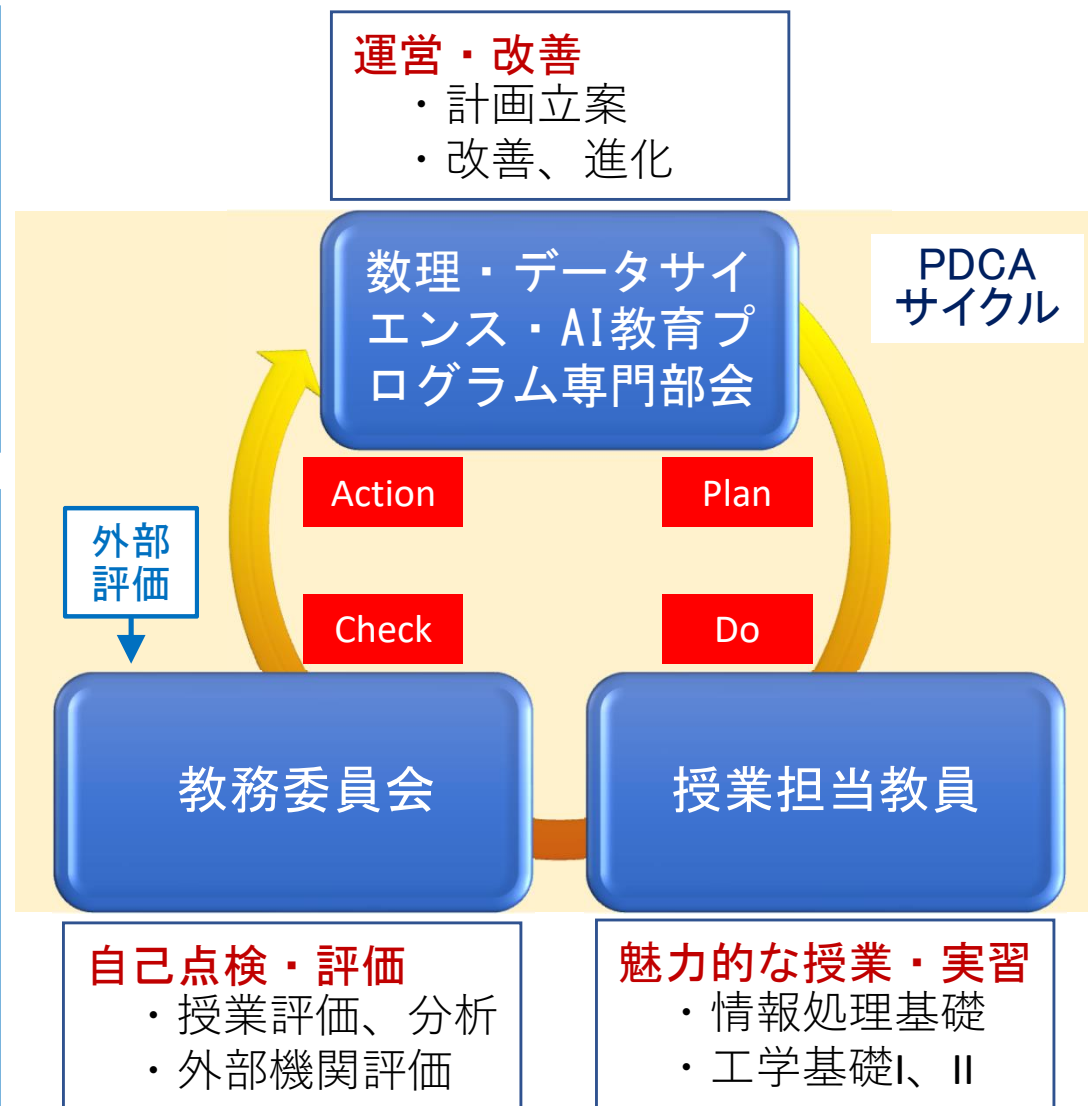


【プログラムの目的】

学生の数理・データサイエンス・AIへの関心を高め、それを適切に理解して活用できる基礎的な能力を育成すること及び数理・データサイエンス・AIに関する基礎的な能力の向上を図る機会の拡大に資することを目的とする。

【身につけられる能力】

- ・ デジタル社会の「読み・書き・そろばん」である数理・データサイエンス・AIの基礎的な能力を身につけ、その有効性を理解できる。
- ・ 社会等の実データから学んだ知識をもとに、様々なデータの読解力を身につけ、学修した知識やスキル等を説明・活用できる。
- ・ 情報セキュリティや情報倫理に留意しつつ、得られるデータについて人間中心の適切な判断ができる。



■実施体制

委員会等	役割
校長	運営責任者
数理・データサイエンス・AI教育プログラム専門部会	教育プログラムの運営・改善
教務委員会	教育プログラムの自己点検・評価

■身につけられる能力

- ・数理・データサイエンス・AIの基礎的能力を身につけ、その有効性を理解できる。
- ・様々なデータの読解力を身につけ、学修した知識やスキル等を説明・活用できる。
- ・情報セキュリティ等に留意しつつ、データについて人間中心の適切な判断ができる。

■本プログラムを構成する科目

対象学科	学年	情報処理基礎（2単位）	工学基礎Ⅰ（1単位）	工学基礎Ⅱ（1単位）
機械工学科・電気電子工学科・電子制御工学科・制御情報工学科・物質工学科	1年前期	○	○	○
	1年後期	○	○	—

■修了要件

本プログラムを構成する科目をすべて修得していること。